

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成27年4月9日(2015.4.9)

【公表番号】特表2014-510856(P2014-510856A)

【公表日】平成26年5月1日(2014.5.1)

【年通号数】公開・登録公報2014-022

【出願番号】特願2013-557920(P2013-557920)

【国際特許分類】

E 04 B 1/94 (2006.01)

【F I】

E 04 B	1/94	L
E 04 B	1/94	X

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月16日(2015.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

壁システムであって、以下：

複数の垂直に配置された水平支持部材；

壁パネルであって、該壁パネルは、該壁パネルの内側面上に少なくとも一つの内方向へ延びるリッジを有する、壁パネル；および

複数の発泡断熱ブロックであって、該ブロックの各々が、実質的に硬質であり、該内方向へ延びるリッジの形状に合致するように適合されている表面を有する、ブロックを含み；

該複数の発泡断熱ブロックが該水平支持部材の各々に沿って離れて間隔をおかれ、該ブロックが、該パネルと該水平支持部材との間に留められ、

断熱材のプランケットは、該支持部材と該ブロックとの間で、該ブロック間にある空間の中へ横方向に拡張させられ、該ブロックは、個々のブロックの長さよりも大きい距離で相互に垂直方向に間隔をおかれている、壁システム。

【請求項2】

請求項1に記載の壁システムであって、前記複数のブロックの各々が、前記リッジの相互的形状に合致する前方向に角度を付けられた対向する側部を有する、壁システム。

【請求項3】

請求項1に記載の壁システムであって、前記ブロックが、個々のブロックの幅よりも大きい距離で相互に水平方向に間隔をおかれている、壁システム。

【請求項4】

請求項1に記載の壁システムであって、前記水平支持部材が胴差であり、そして前記ブロックが各胴差の外側フランジに留められている、壁システム。

【請求項5】

請求項1に記載の壁システムであって：

前記ブロックの各々が厚さ寸法を有し；そして

該ブロックの配置が、前記壁パネルの最も内部の部分と前記水平支持部材の複数の外側フランジとの間の隙間をもたらし、前記断熱材のプランケットの該隙間の中への前記拡張を可能にする、

壁システム。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の壁システムであって、前記発泡断熱ブロックの各々が以下：

前面；

二つの対向する角度を付けられた横面であって、該横面は、前記壁パネルの前記リッジの形状に合致するように適合している、横面；および

前記水平支持部材の外側フランジを係合するための実質的に平らな後面を含む、壁システム。

【請求項 7】

壁を作る方法であって、該方法が以下：

複数の垂直に配置された水平支持部材を有する建物構造を提供すること；

少なくとも一つの内方向へ延びる特徴を該壁の内側面上に有する壁パネルを得ること；

複数の発泡断熱ブロックの各々の一つの側面の形状を、該内方向へ延びる特徴に合致させること；

該複数の発泡断熱ブロックを、該水平支持部材の外側と該内方向へ延びる特徴との間に配置することであって、該ブロックは、個々のブロックの長さよりも大きい距離で相互に垂直方向に間隔をおかれている、こと；および

該壁を該水平支持部材に留めることで、該ブロックを挟み込むことを含む、方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

方法もまた開示され、その方法は、(i) 複数の垂直に配置された水平支持部材を有する建築構造を提供すること；(ii) 少なくとも一つの内方向に延びる特徴を壁の内表面上に有する壁パネルを得ること；(iii) 複数の断熱ブロックの各々の一面の形状をその内方向に延びる特徴に合わせること；(iv) 複数の発泡断熱ブロックを水平支持部材の外側と内方向に延びる特徴との間に配置すること；および(v) 壁を水平支持部材へ留めることでブロックを挟み込むこと、を含む。

1つの実施形態において、本発明は、以下の項目を提供する。

(項目 1)

壁システムであって、以下：

複数の垂直に配置された水平支持部材；

少なくとも一つの内方向へ延びるリッジを有する壁パネル；および

複数の発泡断熱ブロックであって、該ブロックの各々が該内方向へ延びるリッジの形状に合致するように適合されている表面を有する、ブロックを含み；

該複数の発泡断熱ブロックが該水平支持部材の各々に沿って離れて間隔をおかれ、該ブロックが、該パネルと該水平支持部材との間に留められ、該ブロックは、該支持部材と該ブロックとの間の断熱材のブランケットが該ブロック間に作られた空間の中へ拡張することを可能にする、壁システム。

(項目 2)

項目 1 に記載の壁システムであって、前記複数のブロックの各々が、前記リッジの相互的形状に合致する前方向に角度を付けられた対向する側部を有する、壁システム。

(項目 3)

項目 1 に記載の壁システムであって、前記ブロックが断熱発泡剤で作られている、壁システム。

(項目4)

項目1に記載の壁システムであって、前記ブロックが、個々のブロックの長さよりも大きい距離で相互に垂直方向に間隔を置かれている、壁システム。

(項目5)

項目1に記載の壁システムであって、前記ブロックが、個々のブロックの幅よりも大きい距離で相互に水平方向に間隔を置かれている、壁システム。

(項目6)

項目6に記載の壁システムであって、前記ブロックが、個々のブロックの長さよりも大きい距離で相互に垂直方向にも間隔を置かれている、壁システム。

(項目7)

項目1に記載の壁システムであって、前記水平支持部材が胴差であり、そして前記ブロックが各胴差の外側フランジに留められている、壁システム。

(項目8)

項目1に記載の壁システムであって：

前記ブロックの各々が厚さ寸法を有し；そして

該ブロックの配置が、前記壁の最も内部の部分と前記水平支持部材の複数の外側フランジとの間の隙間をもたらし、前記断熱材のプランケットの該隙間の中への前記拡張を可能にする、

壁システム。

(項目9)

項目1に記載の壁システムであって、各スペーサーブロックが以下：

前面；

二つの対向する角度を付けられた横面であって、該横面は、前記壁パネルの前記リッジの形状に合致するように適合している、横面；および

前記水平支持部材の外側フランジを係合するための実質的に平らな後面を含む、壁システム。

(項目10)

壁を作る方法であって、該方法が以下：

複数の垂直に配置された水平支持部材を有する建物構造を提供すること；

少なくとも一つの内方向へ延びる特徴を該壁の内側面上に有する壁パネルを得ること；

複数の発泡断熱ブロックの各々の一つの側面の形状を、該内方向へ延びる特徴に合致させること；

該複数の発泡断熱ブロックを、該水平支持部材の外側と該内方向へ延びる特徴との間に配置すること；および

該壁を該水平支持部材に留めることで、該ブロックを挟み込むことを含む、方法。